



アマチュアオーケストラ

新交響楽団 第269回演奏会

The New Symphony Orchestra – 269th Concert

〈芥川 也寸志 生誕100年〉

Akutagawa Yasushi 100th Anniversary

指揮 坂入 健司郎

SAKAIRI Kenshiro, conductor

芥川 也寸志

オルガンとオーケストラのための「響」

AKUTAGAWA Yasushi (1925-1989): SOUNDS for Organ and Orchestra, 1986

オルガン独奏：石丸 由佳

ISHIMARU Yuka, organ

シCHEDリン

ピアノ協奏曲第2番 日本初演

Rodion SHCHEDRIN (1932-): Piano Concerto No. 2, 1966 (Japanese premiere)

ピアノ独奏：松田 華音

MATSUDA Kanon, piano

ショスタコーヴィチ

交響曲第4番 ハ短調

Dmitri SHOSTAKOVICH (1906-1975): Symphony No. 4 in C minor, Op. 43, 1936

2025年4月19日 (土) サントリーホール 大ホール

18:00開演 (17:00開場) 東京メトロ南北線六本木一丁目駅・銀座線溜池山王駅下車

Saturday, April 19, 2025, 6:00pm (doors open at 5:00pm) at Suntory Hall Main Hall

Tokyo Metro Roppongi-itchome Station (Namboku Line), Tameike-Sanno Station (Ginza Line)

入場料 SS席：4000円 S席：3000円 A席：2000円 B席：1500円 (全席指定)

チケットのお申し込み：teket <https://teket.jp/3558/43238> この二次元コードをご利用ください→

プレイガイド：チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード：288173

サントリーホールチケットセンター suntory.jp/HALL 0570-55-0017 (10:00~18:00 年末年始・休館日を除く)

無料のユース券をご用意しています (先着 100名様)

小中高大学生、大学院生、専門学校生、29歳以下の方はこちらからお申し込みください→

*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますのでお申し付けください。

*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyō.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。



芥川也寸志生誕 100 年

芥川×新響が打ち立てた金字塔の一つ、ショスタコーヴィチ《交響曲 第4番》日本初演（1986年）。2023年、当団との《第9番》《第12番》で好評を博し、翌年には《第5番》でNHK交響楽団へのデビューも果たした坂入健司郎が、満を持してこの意欲作に挑みます。1986年のサントリーホール落成を記念して書かれた《響》のソリストには、すでに当団と共演を重ねる石丸由佳を迎えて。2021年には先んじて《第1番》の日本初演（指揮：飯森範親、管弦楽：日本センチュリー交響楽団）も担っている松田華音によるシチュエドリン《ピアノ協奏曲 第2番》日本初演も必聴です。

今後の演奏会予定

<第270回演奏会 ～芥川也寸志生誕100年～>

2025年7月21日（月祝）14時 東京国際フォーラムホールC

指揮 坂入健司郎

曲目：芥川也寸志／組曲「八甲田山」、武満徹／組曲「波の盆」、坂田晃一／「おしん」テーマ音楽、伊福部昭／SF交響ファンタジー第1番、レブエルタス／組曲「マヤ族の夜」ほか

<第271回演奏会 ～芥川也寸志生誕100年～>

2025年10月13日（月祝）14時 東京芸術劇場 指揮 寺岡清高

曲目：芥川也寸志／絃楽のための三楽章トリプティック、交響管絃楽のための音楽、ベートーヴェン／交響曲第2番、交響曲第5番

<第272回演奏会 ～新交響楽団創立70年～>

2026年1月12日（月祝）東京芸術劇場 指揮 矢崎彦太郎
曲目：坂田晃一／委嘱新作、マーラー／交響曲第3番（アルト：池田香織）

団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。現在、20代～80代の約100名が所属しています。

練習日程

原則として毎週土曜日の18～21時に行います。月に1回程度、日曜または祝日（基本的に昼～夕刻）にも練習があります（日程は半年ほど前には決定されます）。クラシックスペース☆100（大久保）や東京芸術劇場（池袋）をはじめ、東京23区内の施設を利用しています。

オーディション

入団に際してオーディションがあります（年8回ほど、原則として土曜の16時から）。直近では2/8、3/22に開

催予定です。詳細はお問い合わせください。各パートの課題曲の一部はHPにて公開しております。

入団を希望する方は、まず一度練習見学にお越しいただき、説明を受けたうえでオーディションをお申込みください。練習見学の希望は、お名前・連絡先・楽器（パート）・簡単な自己紹介を添えて info@shinkyō.jp までお送りください。

新響の魅力

①充実した音楽体験

自主演奏会はアマチュアとしては破格の年4回！一流の指揮者陣で、意欲的な曲目に取り組みます。加えて、団員有志による年2回の室内楽コンサートや、依頼演奏会への出演なども。

②充実した練習

8割以上の出席率をキープ！1シーズンの練習は平均13回、合奏と分奏をバランスよく取り入れ、2～3ヵ月の短期間で集中的に成果を出しています。原則として合奏・分奏ともに第一線のプロが指導にあたります。

③充実した団楽器・運搬システム

コントラバス、各種打楽器、コントラファゴットやワーグナーチューバなど多様な特殊管、チェレスタなどを団楽器として所有しており、使用できます。練習場までは専門業者のトラックで毎回運搬しています。

④安定した運営

1956年の結成以来、2024年6月時点で265回もの自主演奏会を開催し、ノウハウを培ってきました。安定した運営システムにより、意欲的な演奏会を企画しています。

毎月の「合同委員会」には誰でも参加でき、団の運営方針や選曲に関して積極的に意見を出し合っています。大学生から在団歴50年越えの大ベテラン団員まで、別け隔てなく意見を出し合える雰囲気も魅力です。

♪ 公式HP <http://www.shinkyō.com>

♪ X(旧Twitter) @shinkyō_tokyo

♪ Instagram @shinkyō_pr

♪ Facebook <https://www.facebook.com/shinkyō.tokyo/>

維持会のご案内 ～良いお席を安く～

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券（どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能）を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座：00130-0-28074「新交響楽団維持会」